



ST JOSEPH'S INSTITUTION
INTERNATIONAL SCHOOL MALAYSIA
(TROPICANA PJ CAMPUS)

ENTER TO LEARN
LEAVE TO SERVE



私たちの使命

若者たちが学ぶ方法を学び、生き方を学べるよう、そして彼らが誠実で人の役に立てるような人間になれるよう力を与えます。



セント・ジョセフ・インスティテューション
シンガポール



ラサリアンの私たち

セント・ジョセフ・インスティテューション・インターナショナルスクール・マレーシア(トロピカーナPJキャンパス)は、2016年8月にTropicana Corporation Berhadと提携したLAPIS(Lasallian Asian Partnerships for International Schools)がブラザービクターとラサリアン東アジア地区(LEAD)評議会の祝福を受けて設立し、高く評価されているシンガポールのセント・ジョセフ・インスティテューションと、セント・ジョセフ・インスティテューション・インターナショナルスクールの兄弟校です。

マレーシアで最初のSJIIである我が校は、セント・ジョン・バプティスト・デ・ラ・サールの300年の歴史を持つ教育の使命を引き継いでおり、世界的に認められたラサリアン教育精神の最高レベルに基づいた価値観中心の教育アプローチで、全てのレベルにおいてバランスの取れた学習者を育てることに焦点を当てています。

この基幹となる考え方をもって、SJIIMは兄弟校の優れた教育の歴史の上に築かれ、学校間での知識とリソースの共有を推し進めるための共同学習プラットフォームに加わります。



セント・ジョセフ・インスティテューション・インターナショナルスクール シンガポール

セント・ジョン・バプテ スト・デ・ラ・サール

ジョン・バプテスト・デ・ラ・サールは1651年4月30日にランスで生まれ、1678年4月9日に司祭に任命されました。貧しい人々の窮状に心動かされ、彼は子供たちに奉仕する教育を進めていく決心をして、ランス大聖堂のカノンという名誉ある地位を放棄し、クリスチャンスクールの修道士会(ラサール会)を結成しました。

デ・ラ・サールと彼の修道士達は、フランス全土に質の高い学校のネットワークを築くことに成功しました。そこは能力と達成度に応じてグループ化された生徒たち、素質と使命感を持った教師、保護者の関わりが特徴でした。

デ・ラ・サールはまた教師を育てるためのプログラムや働く若い男性たちのための日曜コース、そして滞納者の世話をするためにフランスで最初に来た施設の開拓者でもありました。

1900年に彼は教皇レオ13世によって聖人に列聖され、1950年5月15日にはキリスト教教師の守護聖人と宣言されました。

今日の修道士達

クリスチャンスクールの修道士協会は、今でもセント・ジョン・バプテスト・デ・ラ・サールの遺志を継いで成果を出し続けています。これは1,000以上の学校、79か国90万人以上の学生たちに関わっている世界規模の教育組織です。

約8万人の教師と共に3千人以上の修道士が協会で活動しています。



ENTER TO LEARN LEAVE TO SERVE



校長からのご挨拶

私からセント・ジョセフ・インスティテューション・インターナショナル・マレーシア(SJIIM)をご紹介できることを大変うれしく思います。この学校は2016年に設立され、早期基礎ステージから国際バカロレア・ディプロマ・プログラム(IBDP)までの教育を提供しており、生徒たちの心を豊かにし、彼らの心に触れ人生を変えるためにラサリアンの教育哲学に導かれながら取り組んでいます。

3～5歳の生徒達が学ぶアーリーイヤーズ(幼稚部)のカリキュラムは、英国アーリーイヤーズ・プログラムを採用しています。これにより、子供達が総合的に育ち成長していくことができます。Y1～Y6の生徒達は、英国ナショナルカリキュラムに基づいた刺激的で魅力的な国際プライマリー・カリキュラムに従って学びます。数学はシンガポールのカリキュラムで学び、また毎日の北京語の授業を含む我が校の豊富な言語プログラムは、生徒達が21世紀のグローバル化した世界で生きていくの為に準備となっています。

Y7、Y8、Y9の生徒達は、英国とウェールズのナショナル・カリキュラムに基づいたIGCSE基礎コースを受講します。IGCSE基礎コースは、我が校の教師達によって計画されており国際的な内容となっております。Y10とY11は、英国のケンブリッジ国際検定が提供する非常に幅広い、国際中等教育修了証書(IGCSE)取得の為に学習をし、次のステップに備えることができます。Y12とY13ではIBディプロマを受講し、このプログラムは世界でもトップクラスの大学へのアクセスを得る機会を得ることが出来る質の高い総合的な教育プログラムとして、世界中で認められています。

SJIIMのスタッフは、生徒達が安全に快適で学習に没頭できる環境のなかで、自立した探求心旺盛な学習者になれる

よう留意しています。また教師陣は生徒達のニーズとスタイルに応じ慎重に計画された授業と課題を通じて、それぞれの生徒がもつ学習の可能性を達成できるよう取り組んでいます。

我が校の小学部の道徳プログラムと高等部の個性/心身の健康を目指すプログラムは、生徒達が重要な性格特性を学び吸収し、多様性を受け入れながら様々な人との向社会的関係を築くための能力を開発する事ができる様、しっかりとした支えと様々な基盤を提供します。

ラサリアンが大切にしているサービス・コミュニティ・信頼は、生徒達がコミュニティに参加することに専心するためのプラットフォームを提供します。年少の子供達は学校のコミュニティの中でサービスを提供し、レベル/学校のコミュニティプロジェクトに参加するよう促されています。年長の生徒達はより広いコミュニティでの奉仕活動や自己認識を高め、アクティブリスニング、チーム作業、リーダーシップ、プレゼンテーションなどのライフスキルを伸ばす、様々なプロジェクトに積極的かつ有意義に取り組んでいます。

ラサリアンの哲学は、最高の瞬間は常に「今ここ」であることを強調しています。いつも「今ここ」を大切にし、SJIIMでの時間を楽しんでください。



マダム
マク・ライ・イン・フランシス

我々ラサリアンの 核となる価値観

信仰・サービス・コミュニティに根ざしています。

内なる神への信仰

コミュニティと共に

貧しい人々と社会的公正への関心

全ての人々を
尊重すること

質の高い教育



>> SJIの紋章

セント・ジョセフ・フィニッシュティエートの現在の紋章は1950年に導入されました。

当時の教育部門の美術教科主任であったリチャード・ウォーカー氏によってデザインされました。

紋章の緑の地は、キリスト教の信仰の象徴である白い十字架によって4つの象限に分割されています。十字架の中央には五芒星である修道士のロゴ、シグナム・フィディ(ラテン語で信仰の印)があり、それはマグ(東方の三博士)をキリストの誕生に導いた、ベツレヘムの星を起源としています。シグナム・フィディは、セント・ジョン・バプテスト・デ・ラ・サールによって設立されたキリスト教学校の修道士達のモットーであり、この印がある事で全てのジョセフィアンに、彼らの人生の中心に信仰をおき、常に信念と理想の星に手が届くのだという事を忘れないようにしています。

左上の象限には全てのジョセフィアンの、ゲームとスポーツ精神を象徴する3つの連動する円があります。右上の象限

には学習のシンボルである本の知識のランプが記されています。

左下の象限にあるライオンは、ジョセフィアンが人生の中で多くの課題に立ち向かう勇気と決意を表しています。またアジアのラサリアンという会社の旗艦となっている我が校が1852年にライオン・シティ、シンガポールに設立されたことを思い起こさせます。

紋章の右下には学校のモノグラムであるSJIが記されています。

紋章を乗り越える王冠は勝利一つまり悪の勢力に対する信仰の勝利を象徴しています。また、セント・ジョセフ・フィニッシュティエート・シンガポールがまだイギリスの植民地だった時代に設立されたことを思い出させてくれます。学校のラテン語のモットーであるオラエト・ラボラ(祈りと労働)は、紋章の下部にある巻物に刻まれています。

人格形成 & 未来を形づくる

カリキュラム経路

ナーサリーから
レセプション

● 早期基礎ステージ

YEAR 1 - 6

● 英国ナショナルカリキュラム
豊富な言語プログラム
シンガポール数学

YEARS 7 - 9

● 国際一般中等教育修了試験(IGCSE)の為の基礎学習
英語ナショナルカリキュラムに基づく

YEARS 10 - 11

● 国際一般中等教育修了試験(IGCSE)
ケンブリッジ国際検定

YEARS
12 - 13

● 国際バカロレア・ディプロマ・プログラム (IBDP)
フルIBディプロマ/ IBコース



大学進学指導
大学の進学指導とキャリア教育のサポートは、
資格のあるカウンセラーが受け持ちます。

小学部(エレメンタリースクール)
3~11歳

高等部(ハイスクール)
11~18歳



アーリー・イヤーズ (基礎ステージ 1 & 2)

SJIMのアーリー・イヤーズは英国の、発達に関するガイダンスに従っています。これは学習と発達の7つの分野(個人的、社会的及び感情的発達; コミュニケーションと言語; 身体的発達; リテラシー; 算数; 世界の理解; 表現力豊かな芸術とデザイン)に分けられます。私達はこれらの学習分野それぞれが重要で相互に関連していると考えており、スタッフはこのガイダンスを使用して「子供たちの総合的な」発達の為のサポートをしています。

調査によると幼児は積極的な学習者であるため、SJIMでは屋内と屋外の両方の教室を利用して、遊びをベースにした「実践的な」学習アプローチを提供しています。 私たちは子供たちの学習への愛情を育むことを目指しており、彼らの意思決定、問題解決、コラボレーション、そして自立を促す教育を提供しています。子どもたちは日々、大人主導の授業や活動を行っていますが、価値あるツールである子ども主導の学習ともバランスを取り、子どもたちが自分たちの学習を分担し、自分の興味に従う機会を与えています。彼らは自身のリソースを選択し、遊びを計画・発展させ、スタッフがこれをサポートし広げていくこともあります。

スタッフは子供たちを観察しながら彼らの強み、興味、ニーズをよく理解し、そこから関連する授業や活動を計画していきます。フォニックスは英国の文字と音で学ぶレター・アンド・サウンズ・プログラムを使用して教えていますが、私たちはIEYC(インターナショナル・アーリーイヤーズ・カリキュラム)とシンガポール算数も取り入れています。全ての子供たちに毎日北京語の授業を行い、レセプションの子供たちには放課後のCCA(課外活動)プログラムを提供しています。



3 ~ 5
歳

マイルポスト:
アーリー・イヤーズ・プログラム

SJIM 学年:
ナーサリー / レセプション



インターナショナル プライマリー・カリキュラム

優れた学び、優れた教え、そして大いに楽しむ

インターナショナル・プライマリー・カリキュラム (IPC) とは、学習体験には関連性があり魅力的で楽しいものにする革新的な教科横断型学習法です。これは、英国ナショナル・カリキュラムに基づいた包括的なカリキュラムであり、明確な学習プロセスと各教科に特定の学習目標があります。IPC は21世紀の学習者の課題に対応するように計画されており、テクノロジーや社会の変化に適応できるようになっています。研究グループはテーマ別アプローチを取り、論理的でありながら創造的な方法でさまざまな主題を織り交ぜます。

IPCは、世界90か国1,800を超える学校で採用されています。このカリキュラムは、国から国へ移り住む家族をサポートし、子供たちが将来他国のカリキュラムに適応できるようにするために必要な知識、スキル、理解力を確実に身に付ける事ができるよう考えられています。

IPCの教科は理科、歴史、地理、テクノロジー、コンピューター、アート、体育、音楽です。

シンガポール算数

SJIMではシンガポールの算数カリキュラムを採用しています。初等算数を教えるに当たり、それが非常に正確で徹底したアプローチだと考えているためです。モデルアプローチ

を使用した問題解決能力の開発に重点を置き、代数的推論を理解していくことにつながります。このアプローチは、ジェローム・ブルーナーの積極的(具体的)、象徴的(絵画的)、象徴的(抽象的)学習の段階を取り入れ、小学生が算数を楽しく学ぶことができます。

豊富な言語プログラム

英語

私たちのリテラシー(識字)プログラムは全ての生徒にとっての学習と発達の中心となっています。我が校の教育を通して生徒たちは優秀なコミュニケーターとなり、文学の真価を深く理解し貪欲な読書家になり、また日常的に書くことも有益で楽しい経験と思えるようになり、自信をもって意欲的に取り組むことが出来るようになります。

北京語

中国語を学ぶことはSJIMでの必須の経験となっています。我が校の毎日の北京語プログラムは、さまざまな言語的、文化的背景を持つ幅広い学習者を対象としています。



5~7
歳

マイルポスト:
マイルポスト1
SJIM 学年:
Years 1&2

7~9
歳

マイルポスト:
マイルポスト2
SJIM 学年:
Years 3&4

9~11
歳

マイルポスト:
マイルポスト3
SJIM 学年:
Years 5&6



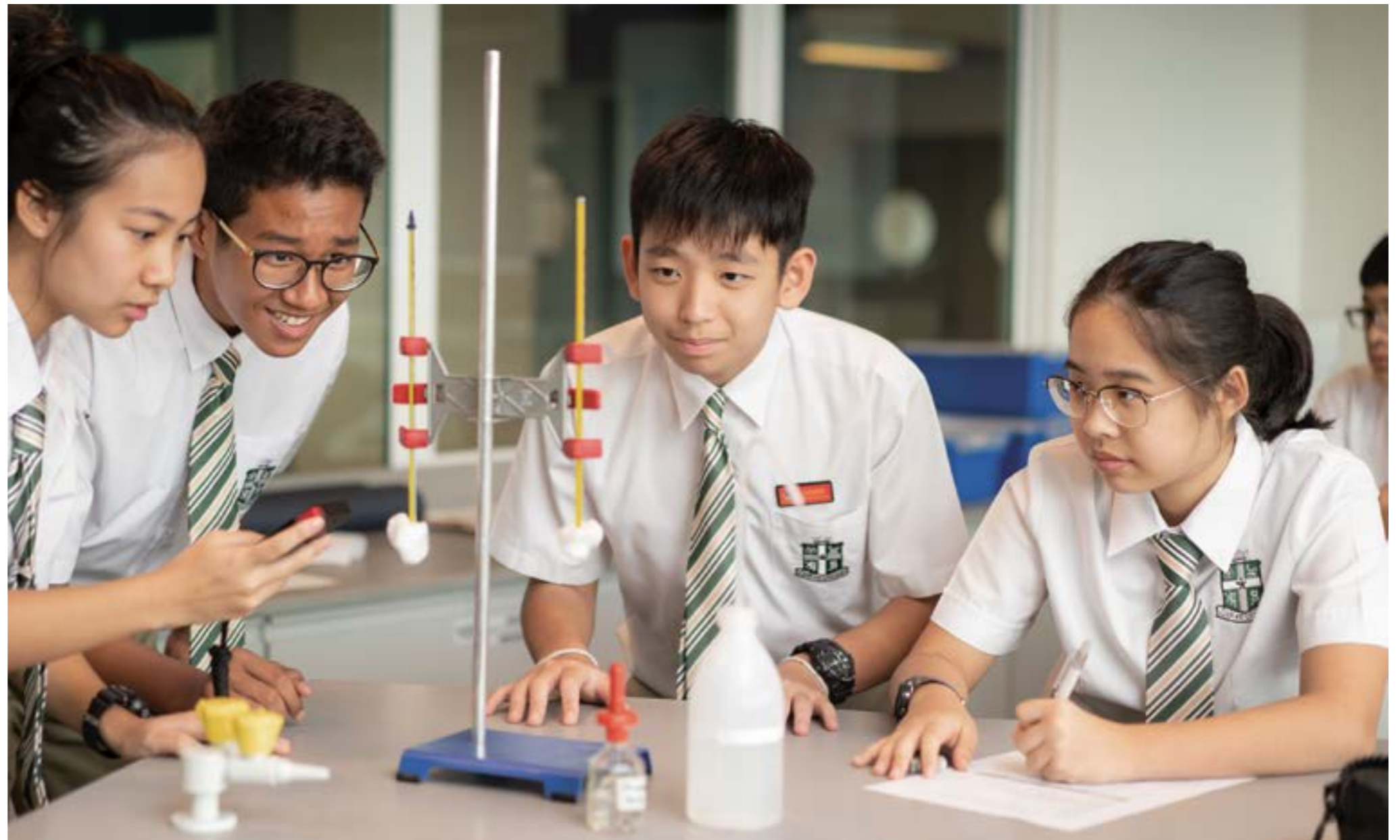
国際一般中等 教育修了試験 (IGCSE)

国際一般中等教育修了試験(IGCSE)は、Year10とYear11の学生を対象としており、14~16歳の学生に世界で最も人気のある国際カリキュラムです。ケンブリッジ大学国際試験によって開発されたもので毎年100か国以上からの学習者がこの試験を受けており、中等学生にとって最も国際的に認められた資格の1つとなっています。

コースは全過程2年間でYear11の終わりに試験が行われます。評価の形式はさまざま、筆記、口頭試験、コースワーク、および実践的な評価が含まれます。各学習者の成績は、国際的に認められた8つのランク(A*、A、B、C、D、E、F、G)を使用して表されます。

IGCSEはIBディプロマやAレベル試験など、その先のレベルのコースで学ぶための優れた基盤となるもので、世界中の主要な大学や会社はIGCSEの結果を学力と成果として受け入れます。IGCSEコースがIBディプロマレベル、Aレベルやその他よく知られている大学入学に必要なプログラムの中で順調に学習を進めていくために必要な、主要なスキルと知識を身に付けていることに生徒たちは気付いていくことでしょう。

SJIIMの生徒たちは、IGCSEの必須科目である英語、数学、科学を学び、さらに選択科目は経済学、歴史、音楽、美術、ビジネスを含む幅広い中から選ぶことができます。これらの選択科目に加えて、学生はスペイン語、北京語、マレー語の3つの言語から1つを選択します。



生徒が受講する選択科目の数は、コーディネーティッド・サイエンスとトリプルサイエンスのどちらを選択するかによって異なります。コーディネーティッド・サイエンスでは2つの追加科目を選択し、トリプルサイエンスでは1つの追加科目を選択します。

IGCSEレベルで学んだ科目はIBレベルで選択する必要はありませんが、IGCSEで学んだ基礎が有益になる場合があります。

生徒の典型的な時間割は1日8クラス、つまり1週間40クラスで構成されます。教室で行われる学習だけでなく、CCAプログラムを通じて学習したことを適用、強化、または再検討する機会があります。

最終的な私たちの目標は、生徒たちが満足のゆくIGCSEでの試験結果を達成出来るようにすることです。SJIIMでは質の高い教育と学習が教室で行われ、必要な時に必要な場所で支援を提供する追加のサポートセッションや、新たな課題が発生した時にそれらを育成および指導するための精神的なケアが提供されます。これにより、生徒たちが持つ真の可能性を実現できると信じています。

国際バカロレア ディプロマ プログラム (IBDP)

国際バカロレア・ディプロマ・プログラム (IBDP) は、世界の高等教育機関の間で非常に高いレベルと認識され一目を置かれています。IBDPで優秀な成績を収めた生徒は、多くの大学で履修科目単位承認、コース単位取得認定、奨学金、またはその他入学関連事項で有利になることがよくあります。現在世界中の4,500を超える学校がIBプログラムを提供しています。

国際バカロレア・ディプロマ・プログラムは、世界で最も難しい教育プログラムの1つとして広く認識されており、学問的、個人的および社会的な成長に焦点を合わせており総体的かつ厳しい教育であるため、世界中の大学で認められています。

IBDPの性質上、学生たちは大学で成功するために必要な主要スキルを身に付けることができますが大学側は、IBDPを終えた学生は大学入学時点で他の学生たちよりも、すでに先へ進んでいると述べています。特にこれは彼らの研究スキルが大学での授業で有用である一方で、発達した批判的思考スキルが後の仕事や市民生活で必要なことに役立つためです。

IBDPを卒業した学生は世界をリードする大学への道が開けます。IBDPは、オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、英国、南北アメリカ、ヨーロッパ、アジアの世界トップクラスの大学を含め世界的に認められています。



IBDPの履修にあたり、すべての学生は3つの主要な「コア」要件を満たした上で、6つの科目を学ぶ必要があります。

主要な要件とはまず、自身が選択した研究テーマに関する4000語の小論文です。第2に知識の理論、つまり学生が持つ知識について考え、評価し、疑問を呈するように考えられたコースです。第3に「CAS」への参加です。これは「C」クリエイティビティ(パフォーマンス、展示会、コンサートへの参加など)、「A」アクティビティ(スポーツチーム、新しいスポーツを習う、遠征など)、「S」サービス(コミュニティ サービス プロジェクトへの参加など)で構成されます。

6つの科目とは、次のそれぞれから1つずつ科目を選んで構成されます。その生徒の第一言語; 第二言語; 人文科学; 実験科学; 数学と芸術 (またはこれらのグループの1つから選択された別の科目)

6つの科目のうち3つは「高レベル(HL)」で受講する必要があり、残りの3つは「標準レベル(SL)」で受講します。

生徒の典型的な時間割は1日8クラス、つまり1週間40クラスで構成されます(そのうち約6クラスが自習時間になります)。また生徒たちは様々な課外活動にアクセスでき、いろいろなプロジェクトを作って参加したり、また学校内のリーダーシップを取るためのグループに参加したりする機会があります。



ENTER TO LEARN LEAVE TO SERVE



SJIIMでの 学び体験



学問的学び

我々は生徒たちが学習に魅せられ熱中することで、彼らの潜在能力を最大限に発揮できると信じています。したがって相互作用、コラボレーション、教師の介入という形で発展してゆくそれぞれの積極的な学びを自ら責任をもって行うよう勧めています。

学問の枠組みの中の機会を通じて推し進められ、生徒たち自身が選択しゴールを設定、取り組み方を計画し、教師や仲間達のサポートを受けながらそれぞれが自立して学びます。我々は生徒が不満を感じることなく、失敗をしてもそこから学ぶ事のしやすい環境を作るよう努めています。そしてよく考え、自分の学習を観察し振り返ることができるよう促しています。

奉仕からの学び

我々ラサールのホリスティック教育の基本的な側面は奉仕を通して学ぶことで、すべての生徒には自分の利益を超えて他人のニーズに応えるため、さまざまな慈善団体や組織をサポートする事を期待されています。これらの活動は地域のイベントから海外のプロジェクトまで世界への理解を促進し、経験に基づくスキルと理解を深め、自己啓発の大きな機会を生み出します。



課外授業からの学び

我々SJIIMが提供するホリスティック教育は、課外活動プログラムによってより豊かなものとなっています。私たちは生徒たちが新たに興味をもったことや活動を体験したり、教室の外でも既に持っているスキルや才能を発揮する機会を持つことが重要であると考えています。当校にはスポーツ、舞台芸術、音楽、学習とテクノロジーの様な幅広い課外活動があり、当校の教員だけでなく、外部からのプロのコーチやインストラクターも指導にあたっています。

また課外活動では生徒たちが継続的に参加し、成功のためのモチベーションとリーダーシップを身につけ、その過程を楽しむことを大切にしています。生徒たちが才能を伸ばして情熱を共有し、さらには自分の活動を始めるための十分な機会があります。これは生徒たちが成熟し、責任ある地球市民になっていくための手助けとなっています。

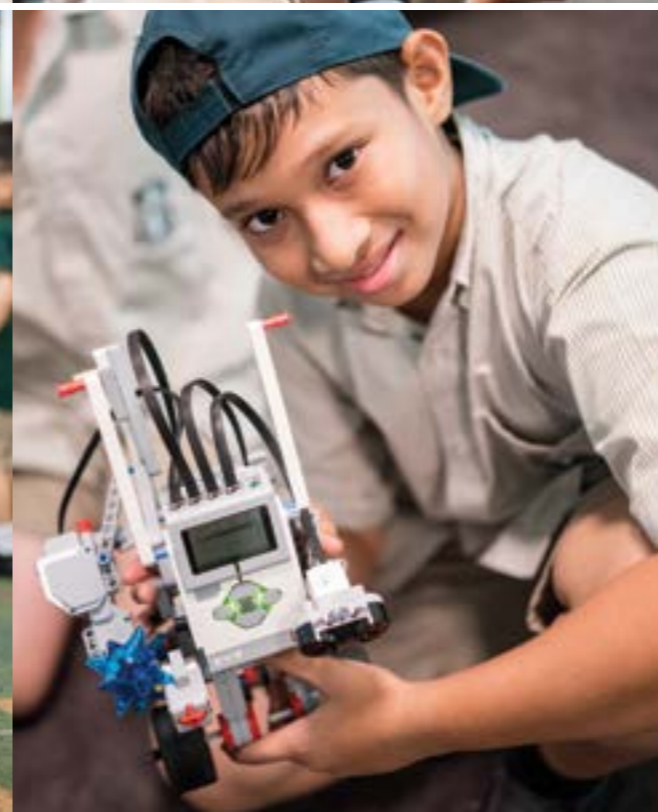
野外教育

野外教育の経験は、回復、決意、解決していく経験を通して学ぶ機会を与えます。生徒たちは自立し、そして協力して行動することの重要性を認識し、学校や地域社会で活発な存在となっていきます。生徒たちが自分の「コンフォートゾーン」から出て周囲の人をサポートする活動をしていく上で、自己規律とチームワークは彼らにとっての挑戦でもあります。彼らは障害を克服する革新的な方法を発見し、挑戦を前向きな人生経験に変え、自分の能力に自信を得ていきます。





SJIMでの学校生活



保護者からの反響



私たちのSJIIMでの旅は、価値観に基づく教育システムを探していた約4年前に始まりました。私たちが信じている、そういった教育が今の世の中では大いに必要とされています。私達はSJIIMを選んで失望した事はありません。

学問的にも精神的にも、それぞれの子供たちの成長に対する学校の全体的なアプローチには非常に感銘を受けました。

小学部の学習環境は好奇心を刺激するものです。そこには生徒たちにとって日々エキサイティングな何かがあり、息子たちは学校に通うことをとても楽しみにしていました。

高等部の生徒たちは自立した学習者となり、熟考し目標を設定、そして集中するよう促されています。これにより娘は来年IBディプロマプログラムを学ぶことになりました。SJIIMは彼女のためにベストを尽くすだけでなく、彼らのモットーであるEnter to Learn, Leave to Serveを維持してくれると信じ、私たちは彼女の決断を喜んでサポートしていくつもりです。そしてPSGとクリスチャン・コミュニティを通じてSJIIMの保護者会に参加できて光栄に思っています。それはラサリアンの賛歌「We are Lasallian」一行目の「We are one but we are many」という考えを学校が受け入れているからです。

生徒と保護者はみな、人生の学びの旅をしています。私たちはこの学校が生徒の最善の利益を念頭に置いており、ほぼすべての状況で成果を得ていることを理解し、方針と決定を含めこの学校を信頼することにはしているのです。

私たちの子供たちはこれまで、インド、ノルウェー、シンガポール、マレーシアの4か国で勉強してきましたが、SJIIMをこれまでで最高の学校といえます。3人のラサリアンの親として、子供たちが現在受けている教育は彼らをしっかりと、そして「安定した」人に育ててくれ、彼らが世界に挑戦していけるよう準備ができていくと信じています。

私たちはこの事をとてもありがたく思い、それを可能にしてくれたSJIIMに感謝します。

神のお恵みがありますように...

キャプテン・グレン & ナタリー・モタ

一期生保護者:

メーガン (Year 11)、デイビッド (Year 8)、ネイサン (Year 8)

奨学生からの反響

私はSJIIMのIBディプロマプログラム(IBDP)の奨学金を受けることができたことを大変感謝しています。自分自身に挑戦する機会を与えていただき、暖かいラサリアンファミリーの一員となることが出来たことで、この学校の厳しいプログラムを受けて自分自身をさらに成長させることが出来ました。

SJIIMの一期生として迎え入れられ、素晴らしいクラスメートと様々な経験を持った熱心で面倒見のいい先生方との学校生活を楽しむことができました。新しい学校だったため、この学校を作り上げ発展させるお手伝いをする機会が多くありました。年を追うごとに大きく発展し、今ではスポーツから学問まで数多くの幅広い課外活動、さらには校外学習やキャンプなど様々なアクティビティがあります。

IBDPの奨学生としては、人としてさらに成長でき、SJIIMのIBDPを受ける準備をすることが出来ました。これはフィリピンでのリーダーシップキャンプに参加したことで、恵まれない人々と向き合う事ができたためです。私達はホームステイをして彼らと日常生活を送ったことで、彼らの困難を理解し共感する機会を得ることが出来ました。彼らの中に眠っている才能に驚かされ、また人生を楽しむ姿勢と私達を快く歓迎してくれた彼らの意欲に心を動かされたこの経験は、私にとって目を見張るものでした。彼らは、私がコミュニティに恩返しをし、今度は自分が人々に刺激を与えられる様になりたいと思わせてくれました。

この事は、小さな行動でも情熱を刺激するという事を気付かせてくれ、そしてそれはSJIIMでも見ることが出来ます。学校での様々な場面でリーダーとなりイベントや運動を運営して貢献し、変化をもたらす熱心な生徒たちがいるため、学校生活は忙しくもとても充実しています。これらのリーダーとは生徒会、ラサリアン・ユース・ムーブメント、またハウスキャプテンなどです。それに加え、IBDP生徒向けのボランティア・プログラムや、Project Hello、Eco-brick building など高等部の生徒達の自主的なアクティビティもあります。

SJIIMはイベントやアクティビティでいっぱいですが、学問を基本としていて、質の高い先生方とIBDPコーディネーター、大学カウンセラーによる継続的なサポートを受けられる学校である事は私が証言します。リソースはSJIIMで尽きる事はなく、IBDPの目的は国際的な関心と思いやりを持った総合的な成長を目指すこの学校の目的と一致しており、SJIIMは間違いなくIBDPに最適の学校だと思います。

最後に、ただ信じて志願してみる事で誰にでもSJIIMの奨学生となれる可能性はあります。2019年の初めは奨学生になる事など思いもしていなかった私が、今ここでIBDPを学ぶ特権を得られているように。この決断は、間違いなく私がこれまで選択きたものの中で最適な事の一つで、私のSJIIMでの学校生活をとても思い出深いものにしてくれた全ての在校生、先生方、学校スタッフの方々に感謝しています。

エミリー・ウン・シウ・ザン

2019年度 IGCSE試験 SJIIM最優秀生

2019/20 SJIIM IBDP 奨学生



”IBDPの目的は、国際的な関心と思いやりを持った総合的な成長を目指すこの学校の目的と一致しており、SJIIMは間違いなくIBDPに最適の学校だと思います”

キャンパスの施設

当校はインターナショナルスクール標準の幅広い設備を備えています。

- ・ ラザリアン・フォーメーション・センター
- ・ 高等部図書館
- ・ 小学部図書館
- ・ 音楽スタジオ
- ・ 個別音楽練習室
- ・ アートスタジオ
- ・ 美術室
- ・ 大学カウンセリングセンター
- ・ パストラルケアセンター
- ・ ナースステーション
- ・ FA認定サッカー場(観戦席あり)
- ・ 屋内スポーツホール(観戦席あり)
- ・ 劇場/パフォーマンス・アーツ・センター
- ・ 25m/15m スイミングプール
- ・ 25m/5m 幼児用プール
- ・ テニスコート
- ・ バスケットボールコート
- ・ 幼稚部用プレイグラウンド
- ・ 高等部生徒用ラウンジ
- ・ 十分な駐車設備
- ・ キャンパス全体のセキュリティーシステム



サッカー場



25m/15m スイミングプール



多目的スポーツホール



IBラウンジ



テニスコート



劇場



ナーサリー・レセプション教室



小学部教室



美術室



高等部教室



コンピュータールーム



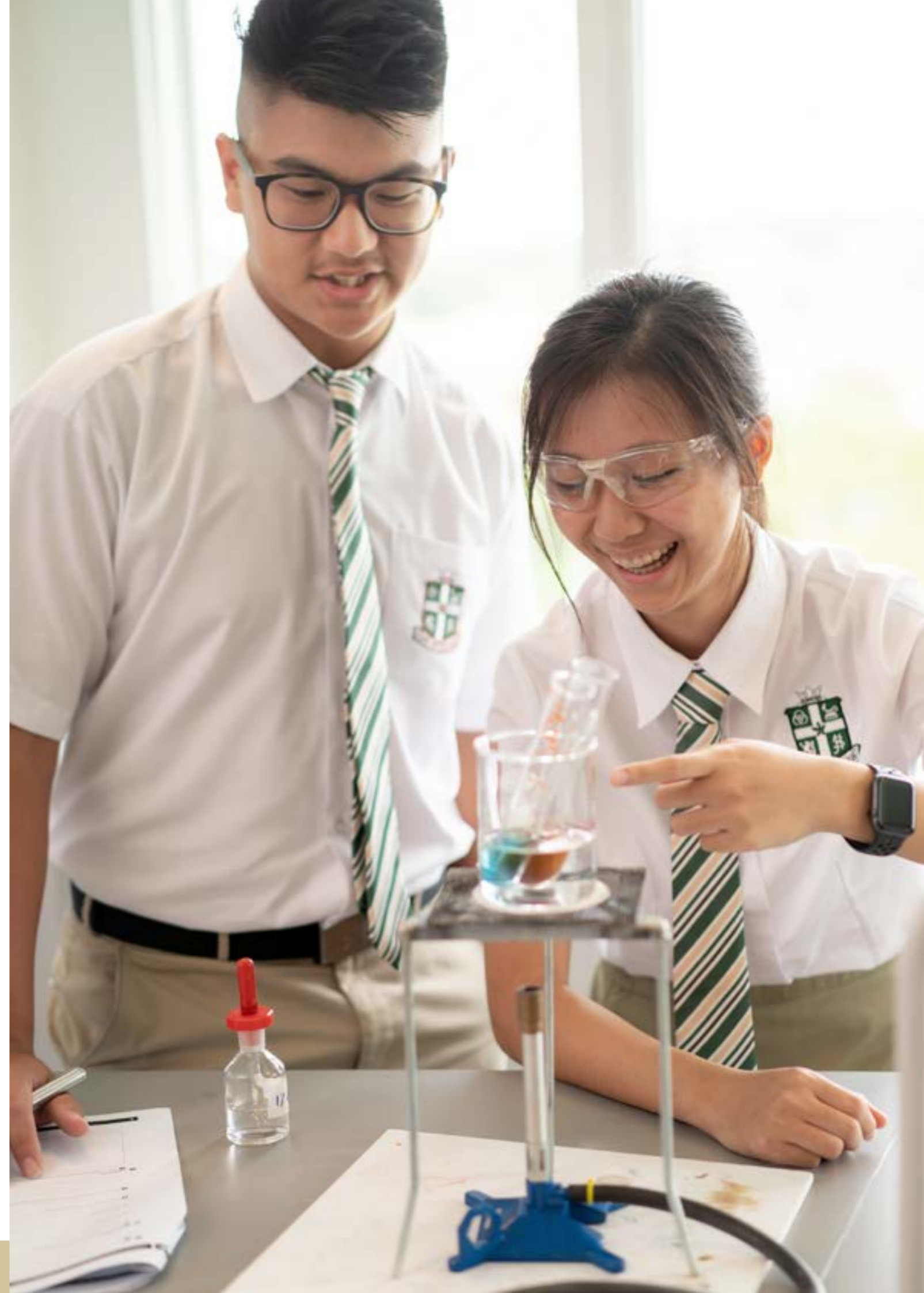
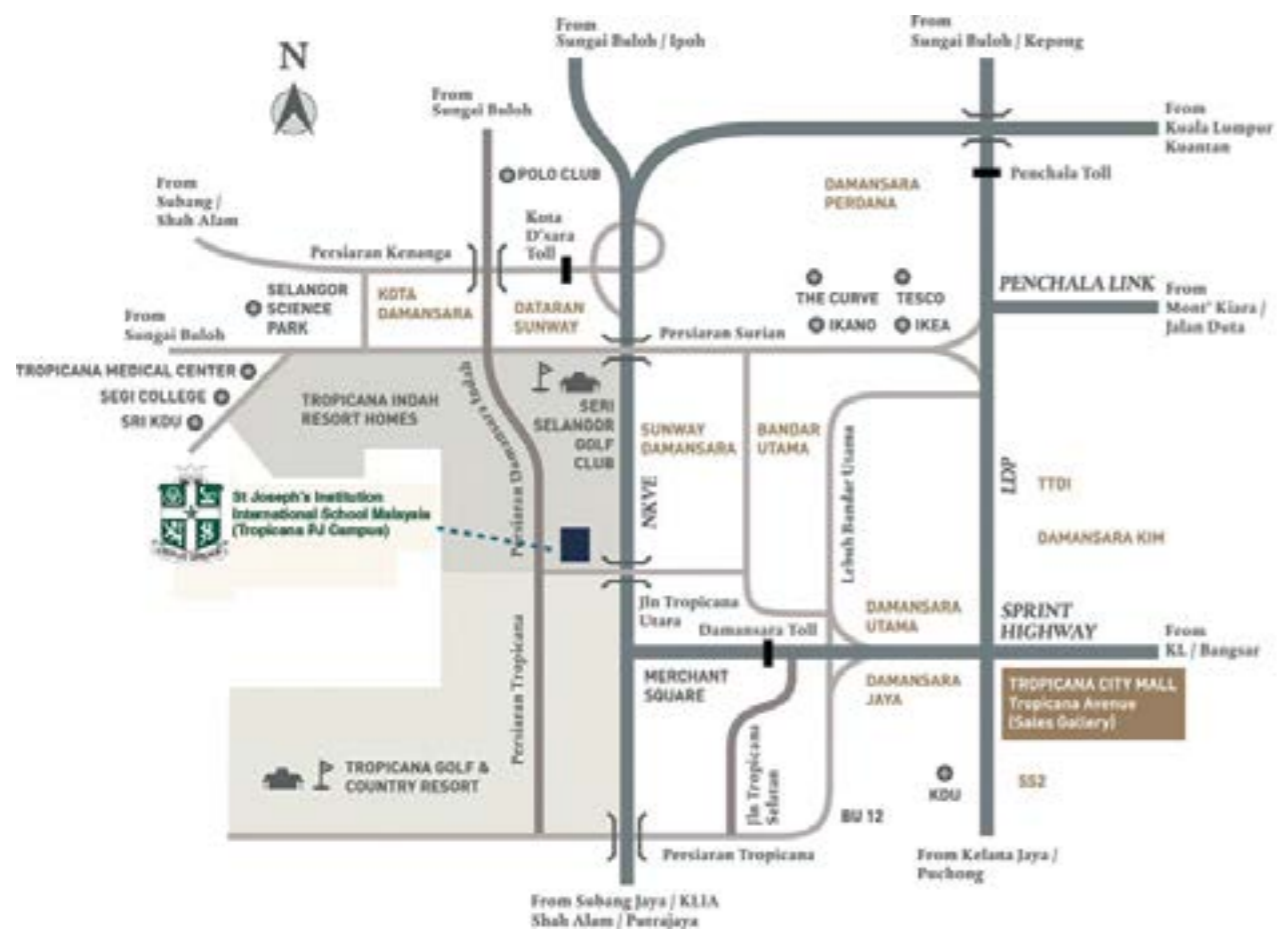
高等部図書室



アートスタジオ



ミュージック・スタジオ



St Joseph's Institution International School Malaysia (Tropicana PJ Campus)
 No 1, Jalan PJU 3/13, 47410 Petaling Jaya, Selangor Darul Ehsan.
 Tel: +603 8605 3605 Email: enquiries@sjj-international.edu.my

www.sjj-international.edu.my

St Joseph's Institution International School Malaysia | SJII Malaysia
 thesaints.sjjim | StJosephsInstitutionInternationalMalaysia

**THE
DE LA SALLE BROTHERS
VENTURING FORWARD
IN ASIA
SINCE 1852**



First published June 2017
Updated December 2020

St Joseph's Institution International School Malaysia (Tropicana PJ Campus)
No 1, Jalan PJU 3/13, 47410 Petaling Jaya, Selangor Darul Ehsan.
Enquiries and admissions: +603 8605 3605

www.sji-international.edu.my